

## 2012年度 特定非営利活動法人浦和スポーツクラブ 社員総会 議事録

- 1 日 時 平成24年6月10日(日) 15時～16時40分
- 2 場 所 クラブハウス
- 3 出席者数 正会員 14名(内委任状4人) (正会員数18名)  
正会員以外 7名
- 4 議事  
一号議案 2011年度活動報告  
二号議案 2011年度決算報告及び監査報告  
三号議案 2012年度事業計画  
四号議案 2012年度予算計画
- 5 議事の経過概要及び議決結果

本社員総会が正会員(18名)の過半数以上となる14名の参加(出席10名、委任状出席4名)を得て、成立が確認された。

戸荻理事長挨拶の後、議事を進行した。

### 一号議案 2011年度活動報告

配布資料に基づき、小野崎副理事長より総論を報告した後、各種目について担当する理事・スタッフから報告があった。

サッカー	原田、中山、石井、小林
テニス	萩原
フィットネス	戸荻、中山、小野崎
広場プロジェクト	伊藤
文科省事業	小川
その他	梶谷、小野崎、

以上の説明後、出席者により意見交換を行った。主に次のような意見が出た。

- ・広場プロジェクトおよび多目的グラウンド整備に関して、実際の活動拠点の確保には課題が多い
- ・これらの活動をとおして、市内の他クラブとの連携し勉強会によりネットワークを広めていけている。よい勉強会ができた。
- ・シニア向けの運動教室などから、元気アップネットワーク会議につながり、本中の余裕教室を借りることにまでつながりそうである。
- ・浦スポ塾については、対外的には行わなかったものの、文科省プロジェクトに従事する学生向けに行った

その後、報告について承認を得た。

### 二号議案 2011年度決算報告及び監査報告

配布資料に基づき、小野崎副理事長より報告がなされた後、柴崎監事による監査報告が読み上げられた。

2011年度決算は黒字になったものの、totoの助成が2012年度までであることを踏まえて、早急に収支構造を改善すべきであるとの意見が出された。

その後、決算報告については、出席者の賛成多数により承認を得た。

### 三号議案 2012年度事業計画

配布資料に基づき、小野崎副理事長より全体的な計画を紹介後、各担当理事、コーチ等から説明があった。

#### 総論

- ・ 被災地支援のプロジェクトについては継続する
- ・ 被災地クラブとの交流機会を本年も設けたい

#### サッカー

- ・ ユースコースをクラブが持つことについて、今後検討を要する。

#### テニス

- ・ 指定管理者自主事業で、キッズテニスの希望者が相応にいたことから、今後も新たな会員確保に力をいれる。
- ・ 大会の第5回を11月23日に予定している

#### フィットネス

- ・ じょじょに回復しているが、スタジオプログラムの会員の確保が必要である
- ・ 高齢者向けのプログラムの展開について、元気アップネットワークとも連携をとりながら地域に広めることで、クラブの認知を高めていく

#### その他

- ・ 7月末にクラブパレットの視察を組む。広場プロジェクトの一環として、スポーツ環境を考える機会としていきたい

以上の説明について、出席者賛成により承認を得た。

### 四号議案 2012年度予算計画

配布資料に基づき、小野崎理事より予算案を説明した。

- ・ 2011年度より、さらに収支構造の見直しをはかり、+幅を増やす予算とした。
- ・ さらに節約できる方法も検討していく。例えば、毎月の会員への郵送費用も、年間では100万を超える。

この後、出席者賛成多数により承認を得た。

#### 6. その他

- ・ 家族割引制度の導入やAEDの新規導入については、財政面の会費減の影響が大きいので、理解者を増やしつつ、収支構造の強化をはかってから再検討する。
- ・ 賛助会員を増やす活動を展開するとよい
- ・ 海外交流なども行いたい
- ・ 他団体と協力して行う事業については、事前にどのような団体なのかなどを理事会

などで確認して行う必要がある。

議事録署名人として、鈴木公文氏、伊藤謙氏の2名が選出された。

以上を持って、全ての議事を終了し、散会した。

以上

この議事録が正確であることを証します。

平成24年6月20日

議長

戸野晴彦 

議事録署名人

伊藤謙 

同

鈴木公文 